

5番 扇谷知巳氏

7番 丸山修一氏

9番 武田悌一氏

6番 谷内純哉氏

8番 儀惣淳一氏

10番 高橋守氏

○欠席議員(0名)

○説明員

市長	小林和男氏	副市長	西城賢策氏
総務部長	北山一幸氏	総務課長	金子満氏
総務課主幹・ 選管事務局長	清水光一氏	財務課長	右田敏氏
納税課長	米田廣文氏	企画経済部長	中沢敏男氏
企画振興課長	小田弘幸氏	農林課長	中原保氏
商工観光課長	猿田智樹氏	環境福祉部長	作佐部盛秀氏
市民生活課長	須河恵介氏	福祉事務所長	阿部弘之氏
保健福祉課長	三百苺宏之氏	建設部長	高嶋善男氏
建設管理課長	鈴木英夫氏	建設課長	三宅博文氏
水道課長	千葉俊行氏	会計課長	田中哲也氏
教育委員長	折笠真仁氏	教育長	富樫繁樹氏
教育次長	永田徹氏	学校教育課長 市立高校設立準備室	高森裕司氏
博物館長	栗山俊彰氏	事務課長	松浦基晴氏
市立高校設立準備室 事務課主幹	梅津吉昭氏	病院事務局長	澤上弘一氏
病院管理課長	磯瀬孝氏	病院管理課主幹	中村正法氏
消防長	長谷川浩二氏	消防署長兼 総務予防課長	辻道元信氏
生活安全センター長	阿部英雄氏	消防課長	木村幸雄氏
監査委員	森原裕氏	監査委員事務局長	鈴木信之氏

○出席事務局職員

議会事務局長 松本哲宜氏 総務係長 豊口哲也氏

◎開 会 宣 告

◎議長（谷津邦夫氏） ただいまから、平成24年第1回三笠市議会定例会を開会します。

◎開 議 宣 告

◎議長（谷津邦夫氏） これより、本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

◎議長（谷津邦夫氏） 日程の1 会議録署名議員の指名についてを議題とします。
会議録署名議員は、会議規則第77条の規定により、5番扇谷議員及び8番儀惣議員を指名します。

◎日程第2 会 期 の 決 定

◎議長（谷津邦夫氏） 日程の2 会期の決定についてを議題とします。
お諮りします。
今定例会の会期は、本日から3月27日までの21日間としたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 御異議なしと認めます。
会期は、21日間と決定しました。

◎日程第3 諸 般 報 告

◎議長（谷津邦夫氏） 日程の3 諸般報告に入ります。
初めに、議会事務報告については、文書御配付のとおりでありますので、口頭報告を省略し、直ちに質問を受けます。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質問ないようですから、議会事務報告については報告済みとします。
次に、教育委員会審議事項報告については、文書御配付のとおりでありますので、口頭

報告を省略し、直ちに質問を受けます。

(「なし」の声あり)

◎議長(谷津邦夫氏) 質問ないようですから、教育委員会審議事項報告については報告済みとします。

次に、一般行政報告を行います。

市長から報告を求めます。

市長、登壇願います。

(市長小林和男氏 登壇)

◎市長(小林和男氏) それでは、報告第1号から報告したいと思っております。

まず、市長の行動報告でございますが、1月の22日、岩見沢市で記録的な豪雪に伴う特別交付税の増額配分ということにつきまして、南空知の4市、美唄、三笠、岩見沢、夕張の首長が集まりまして、衆議院議員の小平忠正さんと、当日来ることになっておりました民主党の幹事長代行ですか、樽床代議士が来るということだったのですけれども、実際は雪害のために飛行機が飛べないというようなことで来られませんでした。そのほか、北海道議をはじめ、民主党の関係者の皆さん方に集まっていたき、先ほど申し上げましたように、この雪害に伴う特別交付税をお願いしたところでございます。

引き続きまして、1月の25、26につきましては、これは三笠市単独として、平成23年度の特別交付税に関する要望をいたすために上京いたしました。

25日のほうは参議院のほうを回りまして、特に小川先生、伊達先生、長谷川先生にお会いすることができまして、そこでいろいろと雪害状況含め、いろいろな課題について説明を申し上げ、ぜひ特別交付税については増額いただきたいということでお願いしたところであります。

続いて26日は、民主党の陳情要請対応本部ということで、副本部長であります参議院議員のほうに赴きまして、そこに書いてありますように、23年度の特別交付税についてもお願いいたしました。あわせて、衆議院のほうの小平先生、稲津先生にもお願いいたしました。また、総務省については、事務次官をはじめ、関係機関をお願いしたところでございます。

引き続きまして、同じく豪雪に対する国の支援ということで、これは北海道市長会が中心になってやるということになりまして、私は、豪雪で非常に厳しい状況に置かれております南空知の市長会を代表して参加させていただきました。そこに記載のされている衆議院のほうにもお願いいたしましたし、参議院のほうにもお願いいたしました。あわせて総務省では、総務事務次官にお会いいたしましてお願いしました。あわせて国土交通省のほうにも行って、雪害に対する財政措置についてお願いしたところでございます。

次、報告第2号であります。雪害対策本部の設置についてであります。御承知のように、1月から2月の豪雪に対応するため、三笠市の雪害対策本部を設置いたしまして、雪害対策についてのもろもろのところについて対応するための本部を設置いたしました。

設置したのは1月の13日、役所内におきまして、特に豪雪が著しく、市の除雪機能だけでは到底住民の生活を守れないということから、自衛隊に1回目は1月の16日、それから2回目は2月の14日からということで、それぞれ除雪並びに排雪をお願いしたところであります。

あわせて、北海道のほうにも要請派遣いたしまして、道道のほか市道についても、そこに記載されているように、6日間にわたって除排雪を行っていただいたところであります。

活動内容については、そこに詳細を表にして記載いたしております。

以上が行政報告であります。

◎議長（谷津邦夫氏） これより、一般行政報告に対する質問に入ります。

報告第1号総務部関係について。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） ないようですから、報告第2号消防本部関係について。

高橋議員。

◎10番（高橋 守氏） 三笠市が、雪害対策本部をこの状況の中で早くに立ち上げて、市民の対応に当たったということに対しまして、まずもって心から感謝を申し上げたいと思います。その結果、いろんな手だてをしていただくことができ、関係機関の自衛隊をはじめ、感謝を申し上げるところでございますけれども、その中で、今、農業関係の中では、まだ被害額が確定できない状況にはありますけれども、相当なハウス等々の被害が出ているという形の中で、本日、北海道に対しまして、空知農民連合を中心としまして、岩見沢、三笠、月形の組織の代表が、この雪害に対しまして何らかの手だてをしていただきたいというようなお願いに行っているところでございます。そういう形の中で、当市としましても、何らかの北海道として形が出てきた時点において、また被害の総体が見えた中で何らかの対策をとっていただきたいと考えております。

それと、この雪害、農業だけではなく、一般市民の皆さんも大変な思いをされたという形でございますので、継続して行われるだろうリフォームの問題で、雪害で住宅の一部等々が壊れて崩壊して、そのリフォームを使って何とか直したいという市民がおりましたら、それを優先的に対応する等々、この雪害に対して、今ある範囲の中、またプラス、市の予算の中でできる限りのことを今後の対応として考えていられるのかどうか、ちょっとお願いをしたいと思います。

◎議長（谷津邦夫氏） 市長。

◎市長（小林和男氏） まず、最初のほうは、私のほうからお答えしたいと思っております。

今ほどお話ございましたように、三笠市もまだ雪が覆っているということで、詳細がわからないのが実態でございまして、過日の復興副大臣が来たときに、実態を見ていただきました。相当なひどい傷み方でありまして、1カ所や2カ所でないというようなことか

ら、これはもう再生して直して使うという状況にはないというふうには思っておりますので、したがって、全貌ができるだけ明らかになり次第、これだけの雪ですから今後の天候にもよりますけれども、かなり時間がかかるのではないかと思います、その辺は今ほどお話ありましたように、空知総合開発期成会ということで、会長が隣の岩見沢市長でありますので、十分そのことを連絡しながら、私ども首長としても具体的な行動をしていきたいと、このように思っておりますので、ひとつよろしく御理解いただきたいと思っております。

◎議長（谷津邦夫氏） 副市長。

◎市長（西城賢策氏） 2点目のリフォーム事業で軒等がやられた場合に何とかという話、そういうふうになんか風聞しまして、私も考えておまして、今、所管に検討させているところです。ただ、リフォームということでもないのかなと思います、修理というか、それらもまとめて同じ制度の中でやるかどうかというあたりに関しては、ちょっと検討が必要ではないかと。

あと、大変な雪だったことは確かなのですけれども、前段触れられた農業被害と同じように、それぞれのメンテナンスということもあるわけですね。一方で、例えばビニールハウスのことと言えば、きちっと雪をとって、中で暖房をしてという方はなかなか壊れていないというお話も聞くわけです。どこまで、それらについてフォローしていくべきかという部分もあるのだらうと思います。

首長さんたちでの活動の中で動かれるというお話は聞きましたので、これはこれとしてということですが、今のリフォームのほうにつきまして、今の制度でやるのか、あるいはほかの制度でやるのか、あるいはそこまで考えないのか、そのことも含めて、所管で少し議論をさせておりますので、その辺またはっきりしましたらお知らせ申し上げたいと思っております。

◎議長（谷津邦夫氏） 高橋議員。

◎10番（高橋 守氏） 今、副市長言われたとおり、農業用ハウスについては、農業共済制度の中で、そこにかけて一定の救済がされる部分の方もいらっしゃいますけれども、ただ、全員がこれ強制加入ではないので、そういう部分の問題も出てくるのかなと思っておりますし、また住宅の問題にしても、言ってみれば、農協で言えば、建更と言われていた部分で、補修が可能だという部分もあって、そういう部分でのものと、どういうふうに分けながら、そういうことを求めている市民にバランスよくというか、公平にというか、そういう部分は深く考えなければいけないところが私自身もあって思っています。

ただ、ハウス被害の部分においては、三笠にとってはある意味で、まだ中の作物が入っていない状況のものが多いという形の中で、本体そのものの被害というものが多いためです。ただ、月形の場合は、中に花卉類が入っていたり、それですごい損害が大きいという部分があって、月形町ではああいうような手を打ったのだらうという認識はしております。

ただ、まだこういう積雪の状況の中で、倒壊しているハウスをわかったとしても、まだ手をつけられないだとか、その時期が融雪が進まない限りは、その修理に当たれないだとかという現実があって、春の作付が間違いなくおこなわれていくだろうという形の中では、ハウスでつくっているものというのは、三笠の中ではキュウリ、メロン等々が多いわけですが、その作付、特産品でございます。この作付がおこなわれるということは、言ってみれば、そのものの所得にも影響してくるという部分もございまして、総合的な視点から御支援をいただけるという方法もあるのかなというような気もしておりますし、ただ、まだ実態が十分把握されておられませんので、そのものが見えてきたときに、いろんな角度で行政のほうでも判断をしていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

◎議長（谷津邦夫氏） ほかに。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質問ないようですから、一般行政報告については報告済みといたします。

以上をもって、諸般報告を終わります。

◎日程第4 平成23年度定期監査及び例月出納検査の実施結果報告について（監報第1号）

◎議長（谷津邦夫氏） 日程の4 監報第1号、平成23年度定期監査及び例月出納検査の実施結果報告についてを議題とします。

本報告について、文書御配付のとおりでありますので、口頭報告を省略し、直ちに質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質疑ないようですから、監報第1号、平成23年度定期監査及び例月出納検査の実施結果報告については、報告済みとします。

◎日程第5 報告第1号及び報告第2号について

◎議長（谷津邦夫氏） 続いて、日程の5 報告第1号及び報告第2号についてを一括議題とします。

本報告については、議会運営委員会及び総合常任委員会の所管事項調査であり、文書御配付のとおりでありますので、口頭報告を省略し、直ちに質疑に入ります。

報告第1号及び報告第2号について一括して質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質疑ないようですから、質疑を終了し、報告第1号及び報告第2

6号については、報告済みとします。

◎日程第6 報告第3号 まちづくり調査特別委員会報告について

◎議長（谷津邦夫氏） 日程の6 報告第3号まちづくり調査特別委員会報告についてを議題とします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。

丸山委員長、登壇報告願います。

（まちづくり調査特別委員会委員長丸山修一氏 登壇）

◎まちづくり調査特別委員会委員長（丸山修一氏） まちづくり調査特別委員会報告をいたします。

平成23年第2回臨時会で決議設置されました「まちづくり調査特別委員会」について、調査の結果を御報告いたします。

この委員会は、議長を除く全議員による委員会での調査を行っておりますので、質疑と答弁等、内容の詳細は省略させていただきますので、御了承願いたいと思います。

さて、平成23年第4回定例会以降、1月24日、2月7日の2回開催をいたしました。1月24日開催の委員会については「第8次三笠市総合計画について」調査を行いました。

主な調査内容として、一つ、総合計画の構成と期間について、2点目、総合計画の目標人数について、3点目、総合計画体系一覧について、4点目、主要事業別体系一覧について、5点目、項目別主要事業内容一覧について、6点目、今後の日程について調査し、行政から資料説明を受けた後、各委員からの質疑と答弁があり、調査を終了しました。

続いて、2月7日開催の委員会では、「市立三笠高等学校について」提示のあった資料をもとに調査を行いました。

主な調査内容として、1点目、第2次学校訪問の実施結果について、2点目、平成24年度北海道三笠高等学校入学者選抜出願の状況について、3点目、寄宿舍平面図について調査をし、行政から資料説明を受けた後、各委員からの質疑と答弁があったところであり、また、資料説明後には、寄宿舍「幾心寮」について現地視察を行い、調査を終了いたしました。

以上をもちまして、本委員会の調査結果について御報告とさせていただきますので、よろしく願いいたします。

◎議長（谷津邦夫氏） これより、委員長報告に対する質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質疑ないようですから、質疑を終了し、報告第3号まちづくり調査特別委員会報告については、報告済みとします。

**◎日程第7 報告第4号 三笠市重度心身障害者医療費条例等
の一部を改正する条例の専決処分の報告について**

◎議長（谷津邦夫氏） 日程の7 報告第4号三笠市重度心身障害者医療費条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告についてを議題とします。

市長から提案理由の説明を求めます。

市長、登壇願います。

（市長小林和男氏 登壇）

◎市長（小林和男氏） 報告第4号三笠市重度心身障害者医療費条例等の一部を改正する条例の専決処分について報告申し上げます。

今回の専決処分は、児童福祉法の一部改正に伴い、必要な改正を行うものであります。

改正の内容は、知的障害児通園施設などの通所による支援を行う施設が一元化されることに伴うものであります。

本件の改正は、議会の委任による専決処分事項の指定について、第4項の規定に該当すると判断したため、平成24年2月1日に専決処分を行ったものであります。

以上、報告といたしますので、よろしくお願い申し上げます。

◎議長（谷津邦夫氏） これより、質疑に入ります。

議案第4号について質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質疑ないようですから、質疑を終了し、報告第4号三笠市重度心身障害者医療費条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告については、報告済みとします。

◎日程第8 報告第5号及び報告第6号について

◎議長（谷津邦夫氏） 日程の8 報告第5号及び報告第6号についてを一括議題とします。

市長から提案理由の説明を求めます。

市長、登壇願います。

（市長小林和男氏 登壇）

◎市長（小林和男氏） 報告第5号平成23年度三笠市一般会計補正予算（第4回）の専決処分及び報告第6号平成23年度三笠市一般会計補正予算（第5回）の専決処分について一括して報告申し上げます。

最初に、報告第5号平成23年度三笠市一般会計補正予算（第4回）の専決処分についてであります。今回の補正予算の内容は、記録的大雪による雪害対策経費を緊急的に措

置するため、既定予算額9億8,219万3,000円に2億5,447万円を追加し、予算の総額を9億4,366万3,000円としたものであります。

まず、歳出であります。総務費では雪害対策本部の設置に伴う職員手当など必要な経費を措置したものであります。

民生費では、ぬくもり除雪サービスの利用回数の増加に対応するため、必要な経費を増額措置したものであります。

労働費では、国の緊急雇用創出事業を活用し、65歳以上の高齢独居世帯等や公共施設の調査及び除雪を行う経費を措置したものであります。

土木費では、道路除雪費が当初の見込みを超えることから、除排雪経費を増額措置したものであります。

また、市役所庁舎ほか9施設においても除雪費を増額措置したものであります。

一方、歳入については、緊急地域雇用特別基金事業費補助金など特定財源を増額し、不足する一般財源を備荒資金の取り崩しにより措置したものであり、諸般の事情から1月25日に専決処分を行ったものであります。

次に、報告第6号平成23年度三笠市一般会計補正予算（第5回）の専決処分についてであります。今回の補正予算の内容は、記録的な大雪による老朽不用施設の倒壊予防対策経費を緊急的に措置するため、既定予算額9億4,366万3,000円に1,927万6,000円を追加し、予算の総額を9億4,593万9,000円としたものであります。

最初に、歳出であります。不用施設除却事業の予算整理を行うとともに、過疎債ソフト事業分を活用し、新たに弥生桜木町旧教職員住宅ほか2施設の解体費用を追加措置したものであります。

一方、歳入については、特定財源として過疎債ソフト事業分を増額し、不足する一般財源を備荒資金の取り崩しにより措置したものであります。

地方債の補正については、増額措置した不用施設除却事業について変更したものであり、諸般の事情から2月15日に専決処分を行ったものであります。

いずれも、本来であれば議会提案すべきところではありますが、その機会がないとの判断から、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分を行ったものであります。

以上、報告第5号及び報告第6号について一括して報告といたしますので、よろしく御承認くださいますようお願い申し上げます。

◎議長（谷津邦夫氏） これより、質疑に入ります。

報告第5号及び報告第6号について一括して質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質疑ないようですから、質疑を終了します。

これより、討論、採決に入ります。

初めに、報告第5号について討論を行います。

(「なし」の声あり)

◎議長(谷津邦夫氏) 討論ないようですから、討論を終了します。

お諮りします。

報告第5号について承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(谷津邦夫氏) 御異議なしと認めます。

報告第5号平成23年度三笠市一般会計補正予算の専決処分については、承認することに決定しました。

次に、報告第6号について討論を行います。

(「なし」の声あり)

◎議長(谷津邦夫氏) 討論ないようですから、討論を終了します。

お諮りします。

報告第6号について承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長(谷津邦夫氏) 御異議なしと認めます。

報告第6号平成23年度三笠市一般会計補正予算の専決処分については、承認することに決定しました。

**◎日程第9 議案第1号 第8次三笠市総合計画の基本構想
及び基本計画の策定について**

◎議長(谷津邦夫氏) 続いて、日程の9 議案第1号第8次三笠市総合計画の基本構想及び基本計画の策定についてを議題とします。

市長から提案理由の説明を求めます。

市長、登壇願います。

(市長小林和男氏 登壇)

◎市長(小林和男氏) 議案第1号第8次三笠市総合計画の基本構想及び基本計画の策定について提案説明申し上げます。

本計画は、本市の将来像を示す長期的な計画であり、平成14年度から推進してきた第7次三笠市総合計画も平成23年度でその計画期間を終えることから、新たに今後10年間の計画を策定するものであります。

第8次三笠市総合計画は、「だれもが暮らしてみたい田園産業都市」「日本一安心してだれもが住み続けたいまち」を将来の都市像として、すべての項目において「誇り」と「挑戦」をまちづくりの姿勢として掲げ、少子高齢化や人口減少、地球環境問題、地方主権の進展など、目まぐるしく変わる状況を見据えながら、中・長期的視点に立ったまちづくりを目指すものであります。

また、総合計画審議会や市民アンケート調査などをはじめ、市民の皆様のお力添えをいただきながら計画策定が進められ、その取り組み方策や計画案へ意見の具申があったものについて検討を重ね、去る2月24日に総合計画審議会からいただいた答申を最大限に尊重した中で、第8次三笠市総合計画案を取りまとめたものであります。

以上、提案説明といたしますので、よろしく御審議くださいますようお願い申し上げます。

◎議長（谷津邦夫氏） これより、質疑に入ります。

議案第1号について質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 質疑ないようですから、質疑を終了します。

ただいま議題となっています議案第1号については、総合常任委員会に付託します。

◎休 会 の 議 決

◎議長（谷津邦夫氏） 休会についてお諮りします。

議事の都合により、明日3月8日、1日間を休会としたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（谷津邦夫氏） 御異議なしと認めます。

3月8日の1日間休会することに決定しました。

以上をもちまして、本日の日程はすべて終了しました。

◎散 会 宣 告

◎議長（谷津邦夫氏） 本日は、これをもって散会といたします。

御苦労さまでした。

散会 午前10時56分

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

平成 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員